

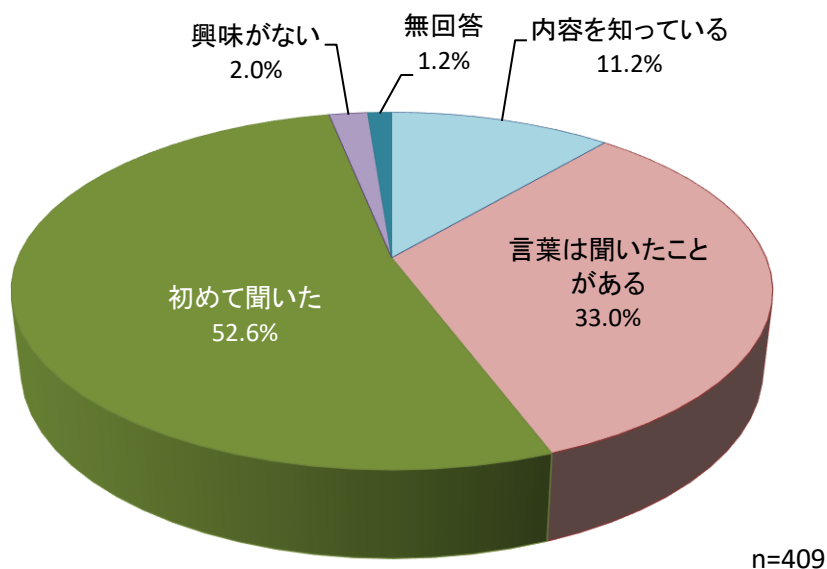
## 18. 治水・雨水対策について

### (1) 総合治水・雨水対策の認知度

#### ◇ 「初めて聞いた」が5割強

問68	宇都宮市の総合治水・雨水対策を知っていますか。	(○は1つ)
		n=409
1	内容を知っている	11.2%
2	言葉は聞いたことがある	33.0%
3	初めて聞いた	52.6%
4	興味がない	2.0%
	(無回答)	1.2%

<図IV-18-1>全体



総合治水・雨水対策の認知度については、「初めて聞いた」が52.6%で最も高く、次いで「言葉は聞いたことがある」が33.0%、「内容を知っている」が11.2%と続いている。(図IV-18-1)

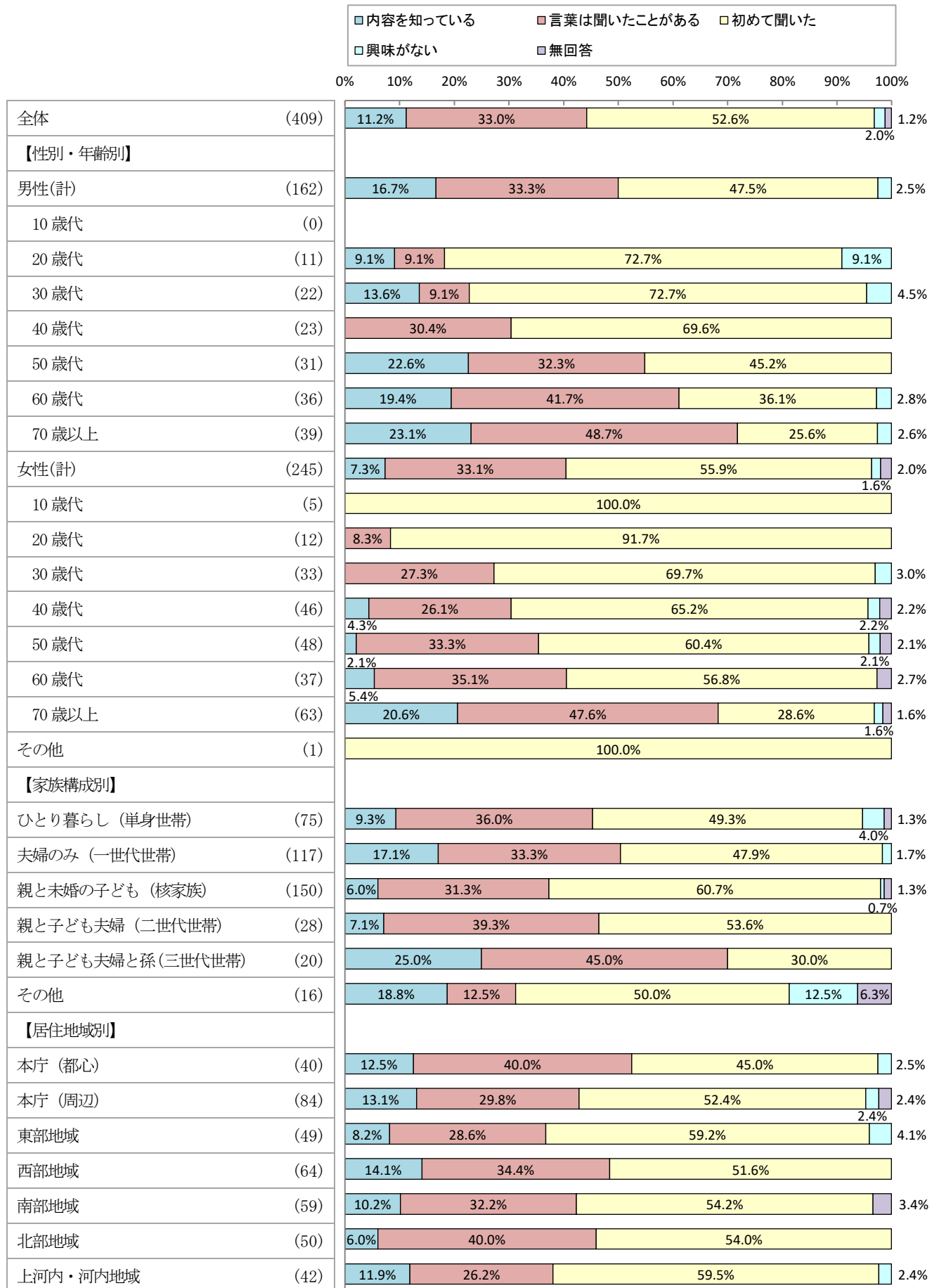
#### <参考>

性別・年齢別で見ると、「初めて聞いた」は<女性/10歳代>、<その他>がいずれも100.0%で最も高く、<女性/20歳代>が91.7%と続いている。「言葉は聞いたことがある」は<男性/70歳以上>が48.7%で最も高く、次いで<女性/70歳以上>が47.6%と続いている。(図IV-18-2)

家族構成別で見ると、「初めて聞いた」は<親と未婚の子ども(核家族)>が60.7%で最も高く、次いで<親と子ども夫婦(二世帯世帯)>が53.6%と続いている。「言葉は聞いたことがある」は<親と子ども夫婦と孫(三世帯世帯)>が45.0%で最も高く、<親と子ども夫婦(二世帯世帯)>が39.3%と続いている。(図IV-18-2)

居住地域別で見ると、「初めて聞いた」は<上河内・河内地域>が59.5%で最も高く、次いで<東部地域>が59.2%と続いている。「言葉は聞いたことがある」は<本庁(都心)>、<北部地域>がいずれも40.0%で最も高く、次いで<西部地域>が34.4%と続いている。(図IV-18-2)

<図IV-18-2>性別・年齢別／家族構成別／居住地域別

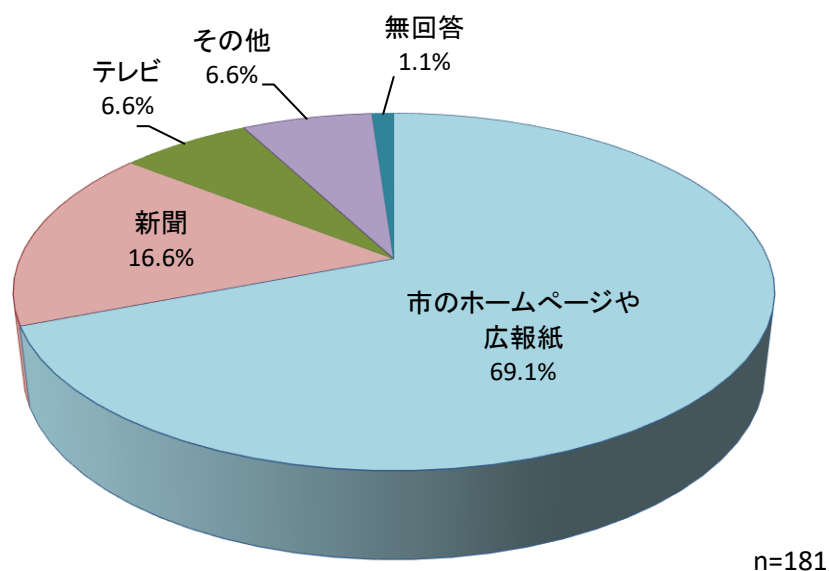


(2) 総合治水・雨水対策をどこから知ったり聞いたりしたか

◇ 「市のホームページや広報紙」が約7割

問69	問68で「1 内容を知っている」「2 言葉は聞いたことがある」を選んだ方にお聞きします。 宇都宮市の総合治水・雨水対策をどこで知ったり聞いたりしましたか。(○は1つ)	n=181
1	市のホームページや広報紙	69.1%
2	新聞	16.6%
3	テレビ	6.6%
4	その他	6.6%
	(無回答)	1.1%

<図IV-18-3>全体



総合治水・雨水対策をどこから知ったり聞いたりしたかについては、「市のホームページや広報紙」が69.1%で最も高く、次いで「新聞」が16.6%、「テレビ」、「その他」が6.6%であった。(図IV-18-3)

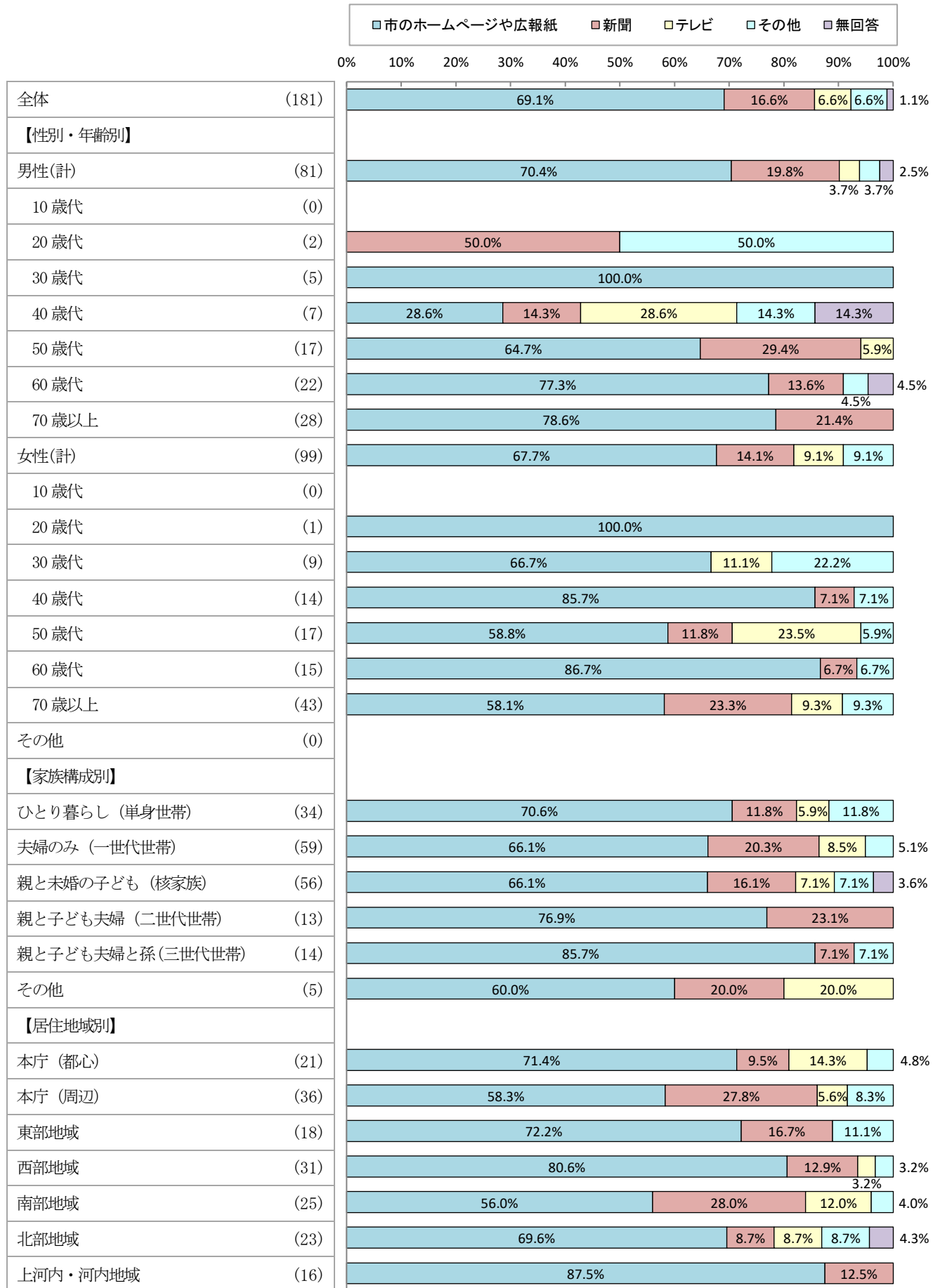
<参考>

性別・年齢別で見ると、「市のホームページや広報紙」は<男性/30歳代>、<女性/20歳代>がいずれも100.0%で最も高く、次いで<女性/60歳代>が86.7%と続いている。「新聞」は<男性/20歳代>が50.0%で最も高く、次いで<男性/50歳代>が29.4%と続いている。(図IV-18-4)

家族構成別で見ると、「市のホームページや広報紙」は<親と子ども夫婦と孫(三世帯世帯)>が85.7%で最も高く、次いで<親と子ども夫婦(二世帯世帯)>が76.9%と続いている。「新聞」は<親と子ども夫婦(二世帯世帯)>が23.1%で最も高く、<夫婦のみ(一世帯世帯)>が20.3%と続いている。(図IV-18-4)

居住地域別で見ると、「市のホームページや広報紙」は<上河内・河内地域>が87.5%で最も高く、次いで<西部地域>が80.6%と続いている。「新聞」は<南部地域>が28.0%で最も高く、次いで<本庁(周辺)>が27.8%と続いている。(図IV-18-4)

<図IV-18-4>性別・年齢別／家族構成別／居住地域別

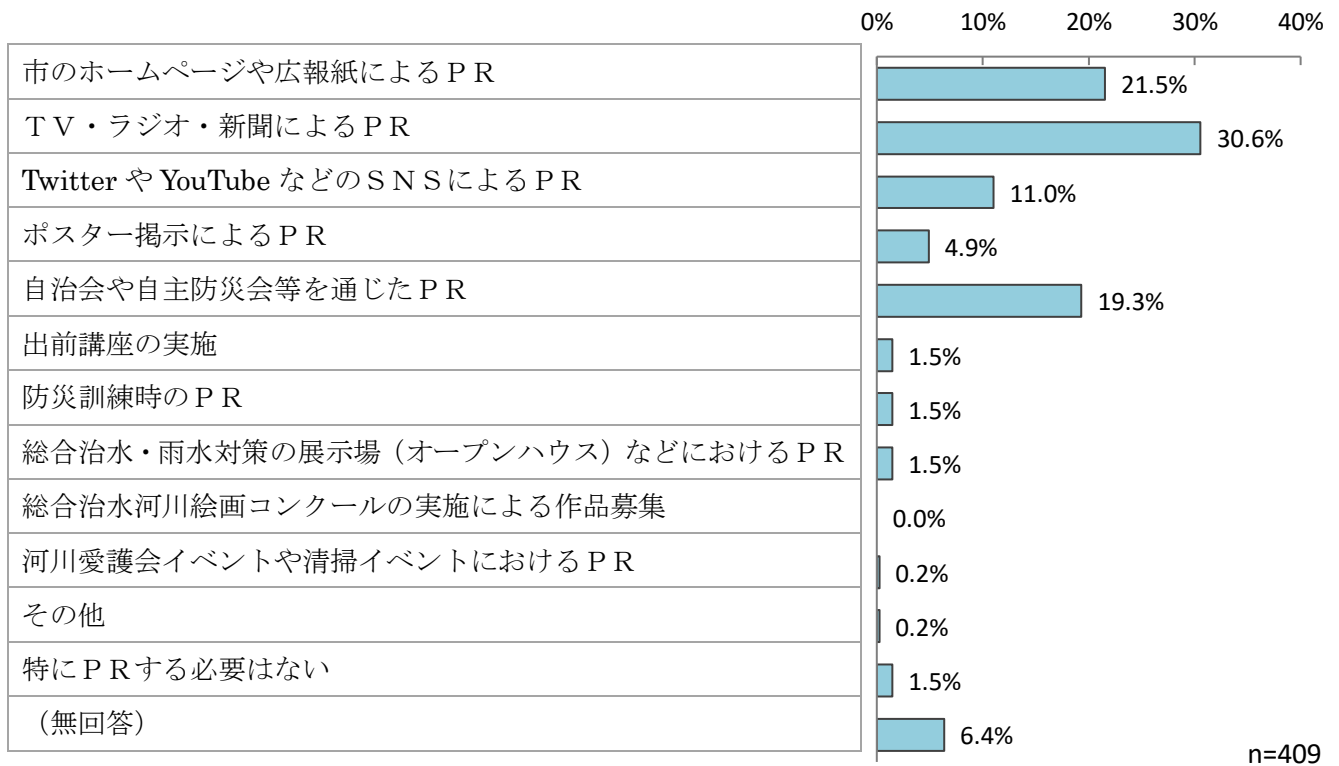


(3) 総合治水・雨水対策の効果的な啓発方法

◇ 「TV・ラジオ・新聞によるPR」が約3割

問70	宇都宮市の総合治水・雨水対策の取組を広めるために、どのような啓発方法が効果的だと思いますか。	(○は1つ)
		n=409
1	市のホームページや広報紙によるPR	21.5%
2	TV・ラジオ・新聞によるPR	30.6%
3	Twitter や YouTube などのSNSによるPR	11.0%
4	ポスター掲示によるPR	4.9%
5	自治会や自主防災会等を通じたPR	19.3%
6	出前講座の実施	1.5%
7	防災訓練時のPR	1.5%
8	総合治水・雨水対策の展示場（オープンハウス）などにおけるPR	1.5%
9	総合治水河川絵画コンクールの実施による作品募集	0.0%
10	河川愛護会イベントや清掃イベントにおけるPR	0.2%
11	その他	0.2%
12	特にPRする必要はない	1.5%
	(無回答)	6.4%

<図IV-18-5>全体



総合治水・雨水対策の効果的な啓発方法については、「TV・ラジオ・新聞によるPR」が30.6%で最も高く、次いで「市のホームページや広報紙によるPR」が21.5%と続いている。（図IV-18-5）

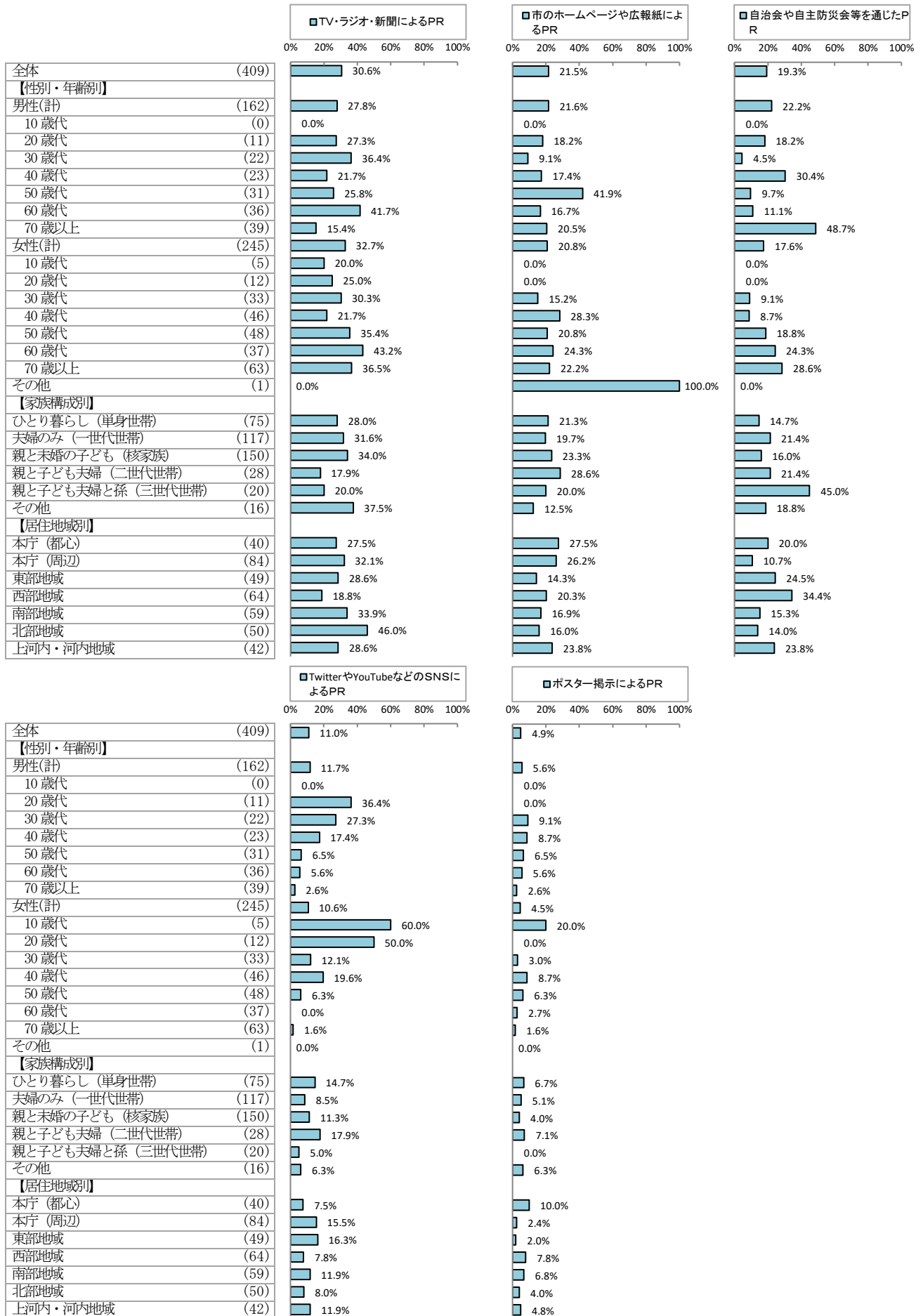
<参考>

性別・年齢別で見ると、「TV・ラジオ・新聞によるPR」は<女性/60歳代>が43.2%で最も高く、次いで<男性/60歳代>が41.7%と続いている。「市のホームページや広報紙によるPR」は<その他>が100.0%で最も高く、次いで<男性/50歳代>が41.9%と続いている。（図IV-18-6）

家族構成別で見ると、「TV・ラジオ・新聞によるPR」は<その他>を除くと<親と未婚の子ども（核家族）>が34.0%で最も高く、次いで<夫婦のみ（一世代世帯）>が31.6%と続いている。「市のホームページや広報紙によるPR」は<親と子ども夫婦（二世帯世帯）>が28.6%で最も高く、<親と未婚の子ども（核家族）>が23.3%と続いている。（図IV-18-6）

居住地域別で見ると、「TV・ラジオ・新聞によるPR」は<北部地域>が46.0%で最も高く、次いで<南部地域>が33.9%と続いている。「市のホームページや広報紙によるPR」は<本庁（都心）>が27.5%で最も高く、次いで<本庁（周辺）>が26.2%と続いている。（図IV-18-6）

<図IV-18-6>性別・年齢別／家族構成別／居住地域別（上位5項目）

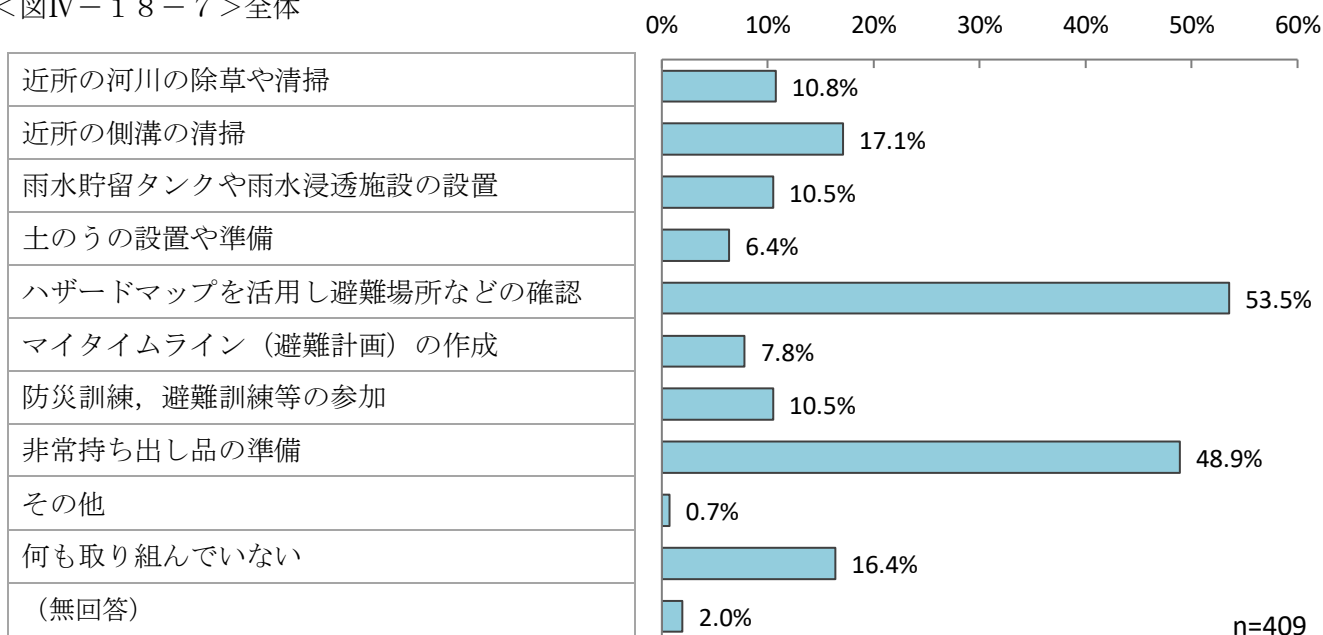


(4) 今後取り組んでいきたいと思っているもの

◇ 「ハザードマップを活用し避難場所などの確認」が5割半ば

問7 1	総合治水・雨水計画は行政と市民の皆さまの協働で取り組むことが大変重要となってきます。そこで、ご自身でできる身近な対策として実際に取り組んでいるもの、または、今後取り組んでいきたいと思っているものはありますか。	(〇はいくつでも)	n=409
1	近所の河川の除草や清掃		10.8%
2	近所の側溝の清掃		17.1%
3	雨水貯留タンクや雨水浸透施設の設置		10.5%
4	土のうの設置や準備		6.4%
5	ハザードマップを活用し避難場所などの確認		53.5%
6	マイタイムライン(避難計画)の作成		7.8%
7	防災訓練, 避難訓練等の参加		10.5%
8	非常持ち出し品の準備		48.9%
9	その他		0.7%
10	何も取り組んでいない		16.4%
	(無回答)		2.0%

<図IV-18-7>全体



今後取り組んでいきたいと思っているものについては、「ハザードマップを活用し避難場所などの確認」が53.5%で最も高く、次いで「非常持ち出し品の準備」が48.9%と続いている。(図IV-18-7)

<参考>

性別・年齢別で見ると、「ハザードマップを活用し避難場所などの確認」は<女性/10歳代>が80.0%で最も高く、次いで<女性/40歳代>が73.9%と続いている。「非常持ち出し品の準備」は<その他>が100.0%で最も高く、次いで<女性/40歳代>が60.9%と続いている。(図IV-18-8)

家族構成別で見ると、「ハザードマップを活用し避難場所などの確認」は<親と未婚の子ども(核家族)>が61.3%で最も高く、次いで<その他>を除くと<夫婦のみ(一世代世帯)>が50.4%と続いている。「非常持ち出し品の準備」は<親と子ども夫婦と孫(三世代世帯)>が65.0%で最も高く、<親と未婚の子ども(核家族)>が52.7%と続いている。(図IV-18-8)

居住地域別で見ると、「ハザードマップを活用し避難場所などの確認」は<本庁(周辺)>が59.5%で最も高く、次いで<西部地域>が59.4%と続いている。「非常持ち出し品の準備」は<本庁(周辺)>が57.1%で最も高く、次いで<西部地域>が56.3%と続いている。(図IV-18-8)



<図IV-18-8>性別・年齢別／家族構成別／居住地域別

